日時；2022（令和4）年３月13日（日）

12:30開演（開場:12時）

場所；図書館視聴覚ホール

定員；20名（予約制）お問い合わせはお電話またはカウンターまで

１人読みにつながる読み聞かせ講座

幼年童話の紹介を交えながら、「子どもがひとりで本を読みたくなる」読み聞かせ方や、本の選び方を紹介します。

日　時　：　2022（令和4）年３月26日（土）午後2時～午後４時

ところ　：　水巻町図書館・歴史資料館　視聴覚ホール

講　師　：　水巻町図書館スタッフ

定　員　：　親子10組　お問い合わせはカウンターまで

イベントは人数を制限したり、変更・中止になる場合があります。

水巻町図書館・歴史資料館

よむぞうだより

令和４年3月
No. 182号

3月行事案内

お話会

3月12日（土）　ともしびの会　11:00～
3月19日（土）　ぷぷら　14:00～
3月26日（土）　ピノキオ文庫　11:30～
3月27日（日）　図書館ｽﾀｯﾌ　14:00～

赤ちゃんと楽しむお話会

3月９日（水）図書館ｽﾀｯﾌ　11:00～

絵本ﾐｭｰｼﾞｶﾙ

3月12日（土）　14:30～

イベントは視聴覚ホールで
実施します。

大人のための朗読会

3月12日（土）　言の葉　13:00～

ピアノ演奏　@エントランスホール

３月16日（水）11:30～　CHIKAさん
３月12日以降の土曜日　12:00～
渡邊　博さん

タミー先生と英語で遊ぼう
は、３月はお休みです。
イベントは人数を制限したり
変更・中止になる場合があります。

３月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 ★
6	7	8	9 ★	10	11	12 ★
13	14	15 ★	16	17	18	19 ★
20 ★	21	22	23	24	25	26 ★
27 ★	28	29	30	31		

４月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 ★
3	4	5	6	7	8	9 ★
10	11	12	13 ★	14	15	16 ★
17 ★	18	19 ★	20	21	22	23 ★
24 ★	25	26	27	28	29	30 ★

★マークは、図書館で催しのある日です。　開館時間　午前10時　～　午後6時

4/23
子ども読書の日
4/23～5/12
こどもの読書週間

〒807−0012　福岡県遠賀郡水巻町古賀3−18−1
TEL　093−201−5000（図書館）　TEL　093−201−0999（歴史資料館）
FAX　093−201−0995（共通）　http://library.town.mizumaki.lg.jp/

親子で読んでほしい絵本大賞

『二平方メートルの世界で』
前田海音（みおん）文
はたこうしろう　絵
小学館

3月の児童展示架は、第3回「親子で読んでほしい絵本大賞」を受賞した絵本を展示しています。この絵本大賞は、JPIC読書アドバイザークラブ（JRAC）が創設した絵本の賞です。今回大賞を受賞した『二平方メートルの世界で』（小学館）は、北九州市主催の第 11 回子どもノンフィクション文学賞を受賞した文章が基になり、絵本化されたものです。

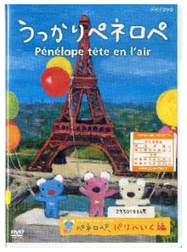
作者の前田海音（みおん）さんは、3 歳のころから脳神経の病気の治療で入退院をくりかえす日常だそうです。二平方メートルとは、病室のベッドの大きさ。カプセルのようなこの空間の中で、病気とともに生きる気持ちを綴った海音さん。コロナ禍の中で、絵本作家のはたこうしろうさんと打合せを重ね、完成した絵本だということです。（あとがきより抜粋）

どうぞ、手に取ってご覧ください。

映写会

場所　視聴覚ホール　無料

親子ｄｅシネマ



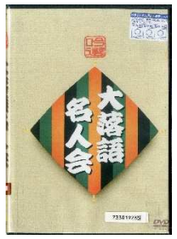
3月20日（日）

『うっかりペネロペ』

開演：午後３時

時間：３５分

図書館ｄｅシネマ



3月15日（火）

『大落語名人会』

開演：午前 11 時

時間：1 時間 20 分

中止になる場合があります。
ご了承ください。

スタッフ注目の一冊

児童書

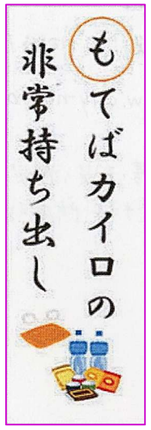
『ぼくとベルさん
友だちは発明王』
フィリップ・ロイ　著
櫛田理絵　訳
PHP 研究所

ぼくは字が書けない。読むのも苦手。だけど算数なら知りたいことがいっぱいある。

そんなエディは、ある日原っぱでベルさんと出会います。アレクサンダー・グラハム・ベル氏は電話の発明で知られ、誰からも尊敬されていました。ベルさんはエディに、できるようになりたいと思う心が大切なのだと話します。失敗は友だちでもあるんだ、とも。

エディの劣等感は努力とともに希望に変わっていきます。また算数の知識は興味とともに深まっていきます。自分を信頼してくれる大人の言葉が、子どもの安心感と自信につながっていく様子を清々しく描いた物語。大人にも読んでほしい作品です。（スタッフ H）

いま、わたしたちができることを…



今月の展示架は、「災害」と「自殺防止」をテーマに、「いま、わたしたちにできることを…」と題して資料を収集展示しています。

3月は、東北大震災をはじめとする全国の災害や防災についての意識が高まる月です。私たち一人一人があの日を忘れず、語り継ぐことで、息の長い支援につなげていければと願っています。

今年は、防災専門図書館が制作した「防災いろはがるた」も展示しています。防災専門図書館は、災害・防災・減災に関する資料を所蔵する専門図書館です。

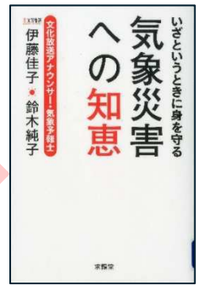
http://city-net.or.jp/library/

身近なかるたで、防災意識を高めてみませんか。

◀防災いろはがるた　しおりバージョン

『いざというときに身を守る　気象災害への知恵』
伊藤佳子・鈴木純子／著　求龍堂

文化放送のアナウンサーであり気象予報士である著者たちが、「天気予報は命を守る情報だ！」という信念に基づいて執筆。知恵が詰まっていますよ！



『災害から命を守る「逃げ地図」づくり』
逃げ地図づくりプロジェクトチーム　編著　ぎょうせい

自分の命を自分で守る！学校で、地域で、身近な危険を知って身を守るための地図づくりワークショップが広まっています！

『こうして地域のリスクに備える！令和・アフターコロナの自治会・町内会運営ガイドブック』
水津陽子／著　実業之日本社

コロナ禍で自治会や町内会をとりまく環境は激変しました。大規模災害が増大する現代、地域の共助をどうすすめればいいのかを考えます。